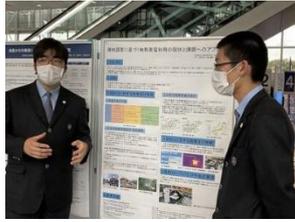
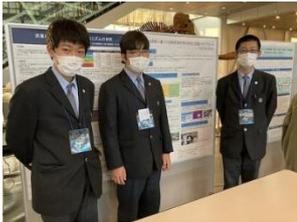




アースサイエンスウィーク・ジャパン 2021

アースサイエンスウィーク・ジャパン 2021 が、10月30日(土)～10月31日(日)に仙台市科学館をメイン会場に行われました。SSH校を含む高校による研究成果発表が行われ、本校高校自然科学部から2件発表しました。

当日は県内の他のSSH指定校とともにポスター発表を行いました。その中で、会場での発表や講演会を聞き、自分たちの研究をより深めることができました。今後も研究を継続して、より良い研究にしていきたいです。

中学3年 SS 探究 Jr
「大崎耕土フィールドワーク」

10月28日(木)本校中学3年生が大崎耕土校外学習に参加し、大崎耕土における課題について学びました。校外学習を通して、大崎耕土に関する興味関心を高め、フィールドワークを通して様々な情報を収集するとともに、その中から課題を見だし科学的な視点で解決する態度を育成することがねらいです。

当日は食に関する歴史と文化、水生生物調査、居久根聞き取り・生物調査など5つのコースに分かれての活動でした。生徒たちは今まで経験したことのない貴重な体験をさせていただき、大変勉強になったようです。

今後は自分が設定したテーマに基づき、実験や調査を行い、フィールドワークで得た情報等と関連付けていきます。必要に応じて追加の実験や調査を行い、より精度の高い研究を目指します。

～フィールドワークの様子～



おおさき小中学生自由研究チャレンジ交流会

10月31日(日)、パレットおおさきにおいて、第1回おおさき小中学生自由研究チャレンジ交流会を実施しました。

当日は大崎市教育委員会の熊野教育長、審査委員長の宮城教育大学 池山名誉教授、SSH運営指導委員長の東北大学 村松教授など多くの来賓を迎え、参加児童20名の発表や表彰が行われました。

はじめに本校高校2年生アドバンスコースの生徒が課題研究発表を行いました。続いて、参加した小学生の発表が行われました。指示棒を使ってはじめはやや緊張した面持ちで、しかし堂々と発表しました。発表後は高校生やティーチングアシスタントの大学生からの質問にも

答え、高校や大学の先生からも助言や激励の言葉をもらいました。一人合計3回の発表のあとは、どの参加者も目の輝きが増していたようでした。

最優秀賞は野蒜海岸で骨を拾ったことがきっかけとなった「海辺の骨の研究」でした。ホエールランドの学芸員さんに尋ねデータベースを調べ、丹念に結論を導いた素晴らしい研究でした。参加者の皆さんの「なぜ？」を形にしようという前向きな姿に、本校の生徒達も大いに刺激を受けていた様子でした。



公開授業研究会

11月10日(火)に『探究力を育てる授業づくり ～ICT教育の推進をとおして～』をテーマとして公開授業研究会【SSH研究開発報告会 兼 ICT利活用 (MIYAGI Style) 授業公開】を行いました。公開授業1では中学校3年、高校1年の探究の時間を公開しました。中学校3年は「ちょっと待て! これでもいいのか この研究」をキーワードに大崎耕土課題研究の中間発表会を行いました。意見交流や振り返りを行いながら、探究を深めました。高校1年は「テーマ設定のプレゼンテーション」を公開しました。大崎耕土フィールドワークを踏まえ、水管理に関わる科学技術的視点と社会科学的視点から「驚くべき事実」を捉えてテーマを設定し、複数の資料に基づいて「説明仮説」を立てる演習としてミニ探究を行い、そのプレゼンを公開しました。

～公開授業1の様子～



また、午後からは職員研修として、授業分科会と講演会を行いました。授業分科会ではJamboardを利用してICTを活用した授業改善の一端を体験しながらの分科会を実施しました。講演会では近畿大学附属高等学校 乾武司先生を招聘し、「1人1台端末導入での授業改善と観点別評価」と題して講演をいただき、有意義な研修会となりました。

今後のSSH関連事業

- 1/4～25 みやぎのこども未来博
- 1/22 東日本大震災メモリアル Day2021
東北地区サイエンスコミュニティ
研究校発表会
- 1/29 サイエンスキャッスル
- 2/5 黎明サイエンスフェスティバル